

〔源氏物語明石〕まくなぎつくらせて、さしおかせけり。

〔源語秘決〕明石卷云　また、きすることをばまくなぎつくるといふ也、まくなぎといふ、ちいさき虫のとびちる時は、目た、きをする故に、其むしのとぶ時のやうにまた、きをする也。